

一畑電車①

一畑電鉄は、山陰地方（島根県）に残る唯一の私鉄であり、数多くの生き残り策を企画し、活動をしていることで有名な会社です。その生き残り策のひとつが「多角経営」で、一畑電鉄は、持ち株会社の名前として登録された鉄道会社は「一畑電車」と呼ぶことにされたようです。ゆえに本文では一畑電車で統一します。

一般的に、地方都市の私鉄は、JRを補完するような役割で成長してきているものが多い中で、一畑電車は、「松江」「平田」「出雲」の3都市を結ぶ、出雲平野？の都市間交通として独立した存在感を持っており、レッキとした独立私鉄の風格のある会社です。JRに接続駅はあるが、主要ターミナル駅の松江しんじ湖温泉駅とか、一畑電車の本社のある平田駅でもなく、支線末端の出雲駅ノミで接続している。

営業キロ数は、本線と北松江線 = 33.9 km

大社線 = 8.3 km と小規模電鉄会社である

この小規模電鉄会社を鉄チャン仲間で有名にしている事柄は多くありますが、その1は、日本一長い駅名を付けたことである。それは

「ルイス・C・ティファニー庭園美術館まえ駅」です。

多くの皆さんが訪れておられ、ご承知の方が多いと思います。いまは、このプロジェクトも終了し、「松江イングリッシュガーデン前駅」という駅名になっており、6文字ほど少なくなっています。ちなみにこの駅の昔の名前は「古江駅」です。



その2は、美しい駅名があることで、それは

「美ギ気でいフ



「美談駅」である。この世知辛く、ギススした社会に心温まる駅名として人があります。人気の割には、無人駅駅舎はかなり荒れているのが情けない状態です。記念切符でも発売すればファンも増えることでしょう。

なお、「美談駅」は写真の通り「みだ

みえき」

と読みます。その3は、両を今年である。その3年生ま



す。郊外電車として日本で一番古い車（3月）まで現役運用していたことの名は、デハニ50系車両で昭和れです。